

(様式第5号)

## 「次期関西広域連合広域計画原案」に対するご意見・ご提案と関西広域連合の考え方

平成26年1月

関西広域連合本部事務局

「次期関西広域連合広域計画原案」に対する意見等を募集した結果、17名から延べ61件（うち意見の公表を望まないもの0件）のご意見・ご提案をいただきました。

いただいたご意見・ご提案に対する関西広域連合の考え方は下記のとおりです。

### 1 「次期広域計画原案全般」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1-1	○次期広域計画原案は、全体として実行可能性が少ない計画であり、具体的事案を明示できていないものについては、計画に盛り込むべきではない。	○次期広域計画では、現行広域計画の取組を総括し、関西の目指すべき将来像を実現するための今後3年間の戦略として、7つの広域事務の重点的な取組方針や「成長する広域連合」として対応すべき新たな広域的取組を明示しております。 ○個別の各分野の具体的な取組については、H24年3月に策定した各分野の具体的な事業を掲げた分野別計画で取り組むこととしています。 ○今後とも、広域計画と分野別計画の一体的な推進に取り組み、7つの広域事務間の連携を図りながら、具体的な事業を実施してまいります。

### 2 「広域防災」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
2-1	○「関西広域連合広域防災分野」について以下の取組を提案する。 ・「関西広域連合広域防災局」が「気象庁」とオンラインで繋ぐ ・「関西広域連合広域防災局」に「広域危機管理部」を設置する。	○広域防災局では、地震・津波・風水害のほか、原子力災害、感染症災害等も含めた広域的な危機管理全般について、迅速かつ円滑な災害対応体制の確立に努めています。

	<p>・「関西広域連合広域防災局」が中心となって「広域防災管理システム」を構築する。</p>	<p>○また、大規模広域災害時の情報発信・共有等に活用するため、H25.9に「広域防災ポータルサイト」を立ち上げ、気象庁を含む各防災関係機関との情報共有の促進を図っています。</p>
--	--	---

### 3 「広域観光振興」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
3-1	<p>○「アグリ・ツーリズム」や「ブルー・ツーリズム」等の農業漁業体験型観光を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「徳島マルシェ観光ツアー」（徳島県徳島市東船場町しんまちボードウォーク）</li> <li>・「観光地引き網体験ツアー」（徳島県阿南市見能林町北の脇海岸）</li> <li>・「観光底引き網体験ツアー」（徳島県鳴門市北灘町播磨灘沖）</li> <li>・「鳴門金時掘り体験ツアー」（徳島県鳴門市大津町又は里浦町）</li> <li>・「徳島勝浦みかん狩り農園ツアー」（徳島県勝浦町）</li> </ul>	<p>○関西は、あらゆる観光資源の宝庫となっており、これらの関西の強みをトータルに、1つのブランドとして戦略的に海外に向けて発信する取組を展開しております。ご提案の農業漁業体験型観光についても、多様化するニーズに対応し、関西の強みである観光資源の1つとして、農林水産分野と連携しながら、その活用の方法を検討してまいります。</p>
3-2	<p>○広域観光・文化振興では、インバウンドも重要であるが、関西に住んでいる人が、もっと地元・関西のことを知り、関西を好きになることが大切である。それがひいては訪問者に対する関西の魅力発信やおもてなしにもつながっていくと考えている。そのためには、関西人をターゲットとした観光・文化振興や教育にも力を入れることが必要ではないか。</p>	<p>○関西広域連合では、関西の強みを1つにまとめKANSAIブランドとして、海外に売り込んで行くためには、まず関西の方々に関西の魅力に自信を持って自ら関西ファンとなる必要があるとの観点から、観光や文化振興、教育などにも繋がり、関西全体の交流を促進し、それ自身が関西の魅力向上に繋がっていくような取組を今後とも検討してまいります。</p>
3-3	<p>○京都商工会議所の京都検定（京都・観光文化検定試験）の兄弟検定（ブラザー検定）として、京都の案内力とおもてなし力を向上させるための新しい資格、『京都案内力検定』を創設する動きがある。それと連動する形で、関西全体のおもてなし力の向上をめざす検定試験を創設する。「関西地域限定通訳案内士」の資格と連動できればよい。</p>	<p>○関西には、京都検定など地域の特徴を活かした検定制度が各地に既にあります。関西広域連合としては、関西全体の検定制度を現在検討しておりませんが、通訳案内士の方々に関西地域の観光情報等を周知するなど、関西を訪れる外国人観光客に対するおもてなしの向上に取り組んでおりますので、ご意見につきましても、施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p> <p>○なお、「関西地域限定通訳案内士（仮称）」の創設については、国の制度改正等の動向を見極めながら検討してまいります。</p>

#### 4 「広域文化振興」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
4-1	<p>○広域文化振興の取組として以下の取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西の「歴史街道」と四国の「四国歴史文化道」との広域的な歴史文化の推進を行う。</li> <li>・「紀伊山地の霊場と参詣道」（高野山・金剛峰寺）と「四国霊場88箇所と遍路道」との広域的な歴史文化の推進を行う。</li> <li>・阿波踊り，河内音頭踊り，丹波デカンシヨ踊りなどの関西広域連合構成地域内での「関西盆踊り大会」を大阪城ホールで開催する。</li> </ul>	<p>○古墳時代に始まり、平城京から平安京へと悠久の歴史において日本の政治、経済の中心にあった関西には、数多くの貴重な歴史的・文化的資源が重層的に存在し、観光資源としても大きな価値を持つことから、これまでから、四国も含め関西の様々な歴史的・文化的資源を辿る関西広域観光ルートを設定するなど、関西広域連合としても取組を進めてまいりました。</p> <p>○関西広域連合としましては、今後も世界に誇る歴史的・文化的資源を活用することが重要と考えており、既に登録されている世界遺産や世界遺産暫定一覧表登録の文化遺産、暫定一覧表候補の文化資産、さらにはジオパークも含め様々な広域観光ルートを設定して世界にPRするなど、一体的に情報発信してまいりたいと考えております。ご意見につきましては、関西の特徴を活かすアイデアとして、次期広域計画に基づく施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
4-2	<p>○広域文化振興の取組として以下の取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国立国会図書館関西館」を中心にして「関西広域連合ネットワーク図書館」を構築し、構成府県内の公立図書館をオンラインで結ぶ。</li> <li>・「京都国立博物館」を中心にして「関西広域連合ネットワーク博物館」を構築し、構成府県内の公立博物館をオンラインで結ぶ。</li> <li>・「関西広域連合広域観光・文化振興局」が「人を恋うる歌」（旧制第三高等学校寮歌）、「琵琶湖周航の歌」（旧制第三高等学校寮歌）の再生を図る。</li> </ul>	<p>○国立文化施設を中心とした公立文化施設との連携については、国立国会図書館と全国の公立図書館、公文書館等とネットワークが結ばれ、総合目録のデータベース構築やレファレンス・サービスなど、既に取組が進められているところです。</p> <p>○関西広域連合としましても、様々な文化施設と連携を進めることは重要なことと考えておりますので、ご意見につきましては、次期広域計画に基づく施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
4-3	<p>○「関西広域観光・文化振興局」が中心となって各地域の民謡や童謡の再生を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「祖谷の粉引き唄」（徳島県）</li> <li>・「よしこの」（徳島県）</li> <li>・「鞠と殿様」（和歌山県）</li> <li>・「串本節」（和歌山県）</li> </ul>	<p>○関西広域連合では、現在、「文化の道」事業として、「人形浄瑠璃」や「祭り」など、関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぎ、時代と地域を越えてその魅力を伝える取組を推進するとともに、古典の日の法制化を踏まえた、古典の普及啓発にも取り組んでいるところです。</p> <p>○関西には、各地の伝統的な祭りや民謡、童謡をはじめ、長い歴史に培われ、地域に密着した伝統文化の蓄積があります。ご意見につきましては、関西の特徴を活か</p>

	<p>・「貝殻節」(鳥取県)</p>	<p>すアイデアとして、次期広域計画に基づく施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
4-4	<p>○関西広域連合主催で関西広域連合の構成府県内で持ち回り方式による「関西広域連合版国民文化祭」を開催する。</p>	<p>○関西広域連合では、文化の新しい楽しみ方を発見いただき、文化がますます身近に感じられる機会をより多くの方に提供できるよう、年2回、関西各府県内で順次、「関西元気文化圏推進フォーラム」を開催しているところです。</p> <p>○関西広域連合としましては、構成団体における固有の文化振興施策の内容や効果等を踏まえ、関西広域連合が果たすべき役割を整理し、関西全体の文化振興を図ることが重要と考えておりますので、御意見につきましては、次期広域計画に基づく施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
4-5	<p>○文化・観光とは「文化観光」なのか「文化及び観光」なのか分かり難い。文化や観光はそれぞれが広範囲で重要で広域連合では別個に取り上げ議論すべき。「文化観光」は経済上から重要。外国から人を呼ぶには昔にあった価値あるものの掘り起こし、そのうち建物景観などの復元行政が重要。日本では壊された建物や風景など価値あるものを復元せず壊れ放しにしているものが多いので見直す必要がある。東京や一部の地域ではそれに気がつき一部実行している。</p>	<p>○関西では今もなお、文化の厚い基層の上に地域社会や産業・経済等が成り立っており、とりわけ観光振興は、文化資源そのものの魅力や知名度など、その発信力に負うところが大きいと考えております。文化を観光資源として活かすことは、経済的な側面ばかりではなく、地域を越えて保存・継承の気運を高めることになり、次世代への確実な継承を促すことにもつながります。観光と文化が車の両輪のように作用し合うことで、相乗効果を発揮し、関西全体を活性化させ、文化の継承とともに地域社会全体に活力をもたらすものと考えております。</p>
4-6	<p>○文科省と文化庁は日本を芸術文化立国として位置づけ、東京オリンピックにかけて世界から一万人の文化関係者を集める方針。最近東京に国立の文化施設が4つ(国立オペラ劇場、国立能楽堂、国立美術館、科学技術館)できた。国土の均衡ある発展の為に東京に国立の文化施設を一つ作れば、関西広域連合内(域内の何処でも良い又は他の地方)に一つ作るべきで、関西としても要望すべき。</p>	<p>○東京オリンピック・パラリンピックにつきましては、関西広域連合としましても、関西独自の文化・観光の魅力をも効果的に国内外に発信し集客につなげる、また新しいチャンスと考えており、最終案に向けて表現などを調整し、追記してまいります。</p> <p>○関西広域連合としての具体的な取組については、今後、構成団体間のみならず、経済団体等も含めた場で協議・調整も行いながら、検討を進めてまいります。</p>
4-7	<p>○文化にとって大事なものは文化の創造で、文化創造・形成の基本になるのは若い人の文化芸術教育である。そのため、芸大を中心に文化が形成されると言っても過言ではない。日本は東京芸大が頂点にあり、又核になっている。関西広域連合内では京都市を除き、構成自治体は一人のアーティストも自治</p>	<p>○芸術大学が文化芸術の継承・創造や次世代育成に果たす役割は大きいと考えています。関西には公立、私立の多くの芸術系大学が存在していることから、まずは、これら芸術系大学のご意見も伺いながら、関西文化の次世代継承と人材育成に活かしてまいりたいと考えています。</p>

	<p>体から輩出する仕組みを作っておらず、芸術学部も芸大も持っていない。関西広域連合内で教育特区として国、公立大学の連携や私立芸大を含めたスーパー芸術教育機構、つまり大きな芸大の連携機構、世界レベルの文化の創造が出来る東京芸大を上回る芸大機構、例えば「関西文化芸術大学院」等のスーパー機構を作るべき。</p> <p>○稲盛財団は20億円の寄付をされ、これで国立京都工芸繊維大学、京都府立医大、京都府立大学の共通教育課程の教育を行う建物の建設に弾みがつくと聞いている。関西広域連合域内の自治体はこれを参考にして欲しい。もし、法律や文科省の規制があれば戦略特区として、縛りを解いて行くべき。</p>	
--	---	--

## 5 「広域産業振興」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
5-1	<p>○「関西広域連合広域産業振興局」が中心となって以下の取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関西広域連合広域産業振興局」と「中小企業基盤整備機構近畿本部」と連携して関西地域全体の中小企業振興の支援施策を展開する。</li> <li>・ICTを活用しての製造業の産業高度化を促進する。</li> </ul>	<p>○次期広域計画では「世界の成長産業をリードするイノベーション創出環境・機能の強化」「高付加価値化による中堅・中小企業等の国際競争力の強化」「『関西ブランド』の確立による地域経済の戦略的活性化」「企業の競争力を支える高度人材の確保・育成」の4つの重点方針を掲げています。</p>
5-2	<p>○「関西広域連合広域産業振興局」が「日本技術士会近畿本部」や「日本弁理士会近畿支部」と包括的な連携協定の締結を行う。</p>	<p>○今後、構成団体と一体的な取組を展開するとともに、関係機関とも適切な分担と密接な連携を行い、重点方針に基づき取り組むこととしており、次期広域計画の実現に向けては、ご提案の内容についても参考にさせていただきます。</p>
5-3	<p>○「関西広域連合広域産業振興局」が主体となって関西国際空港りんくうタウンに『航空宇宙製造産業』の産業振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカのボーイング社の航空機製造工場（ボーイング777-X）</li> <li>・欧州のエアバス社の航空機製造工場（エアバスA-350）</li> </ul>	<p>○関西広域連合では、各構成団体が形成に取り組む地域拠点同士を連携させるなど、スケールメリットを活かした取組を進めているところです。</p> <p>○ご提案については、構成団体内の地域の拠点形成に関する内容ですので、各構成団体において検討すべきものと考えています。</p>

5-4	<p>○「関西広域連合広域産業振興局」が中心となって以下の取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域地場産業の振興で 関西全体の地域経済の活性化を図る。</li> </ul>	<p>○次期広域計画では、重点方針として『「関西ブランド」の確立による地域経済の戦略的活性化』を掲げています。</p>
5-5	<p>○構成府県の地場産品や伝統工芸品のデータベース化を行なう。</p>	<p>○人材や技術の伝承、市場開拓などの伝統産業の振興は、主に構成団体が実施していますが、関西広域連合でも、伝統工芸品を重要な産業資源としてスケールメリットを活かした取組を進めているところです。</p>
5-6	<p>○「関西ものづくり人材力調査」を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西におけるものづくり人材について、次の3つの分野について調べて、データとする。関西で、ものづくりに携わっている人（職人、技術者など）がどの分野（職種）に、何人くらいいるかを広域的に調査する。これは関西全体の発展のための重要な基礎資料となるはずである。この調査により、どの分野の技術（道具）が消えようとしているかがわかり、ものづくり技術・技能の伝承や後継者育成にも活用できる。若者の雇用創出にもつなげたい。関西の経済団体、シンクタンク等の知恵を結集する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伝統産業の人材…染織、工芸、生活関連（畳、造園など）</li> <li>2. 伝統食品の人材…豆腐、ゆば、酒、漬物、茶など</li> <li>3. 先端産業の人材…機械、電子部品など</li> </ol> <p>注) 1について、京都の西陣織であれば『西陣年鑑』に、業界の従業員数は示されているが、これには、営業職、総務職なども含まれているため、実際、西陣織のものづくりに携わる人数は把握できない。また、「伝統工芸士」の人数は、経済産業省のデータとしてはあるが、伝統工芸士の他に、いろいろな分野（工程）の職人がものづくりを支えていることはよく知られている。ものづくり人材の全体像を明らかにした資料は今だにない。一方、フランス、ドイツでは、国のトップが「わが国では何人の職人がいるか」を把握していることに驚きます。</p>	<p>○今後とも、構成団体と連携しながら、効果的な取組を進めてまいります。</p>

5-7	<p>○計画原案15P「(4)企業の競争力を支える高度人材の確保・育成」であるが、地元における雇用確保の観点から、「将来を担う次世代へのものづくり教育の推進や、大学等と連携した地元学生の定着促進といった視点」を盛り込むべき。</p>	<p>○関西広域連合では、構成団体が担う地域の人材確保・育成、就労支援の取組を踏まえつつ、より広域的な観点から「高度産業人材」の確保・育成に取組んでおり、経済団体や企業、大学等教育・研究機関などの関係機関とともに、それぞれが持っている機能を活かしながら、担う役割を果たしつつ、互いに課題やニーズ、情報を共有し、各々が有機的に連携して取組を推進することが必要と考えています。</p>
5-8	<p>○「関西広域連合広域産業振興局」が中心となって以下の取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「技術士」,「弁理士」,「工学博士」の学位を有する等の専門的技術を有する者の人材確保を行う。</li> </ul> <p>(再掲) ○「関西ものづくり人材力調査」を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西におけるものづくり人材について、次の3つの分野について調べて、データとする。関西で、ものづくりに携わっている人(職人、技術者など)がどの分野(職種)に、何人くらいいるかを広域的に調査する。これは関西全体の発展のための重要な基礎資料となるはずである。この調査により、どの分野の技術(道具)が消えようとしているかがわかり、ものづくり技術・技能の伝承や後継者育成にも活用できる。若者の雇用創出にもつなげたい。関西の経済団体、シンクタンク等の知恵を結集する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伝統産業の人材…染織、工芸、生活関連(畳、造園など)</li> <li>2. 伝統食品の人材…豆腐、ゆば、酒、漬物、茶など</li> <li>3. 先端産業の人材…機械、電子部品など</li> </ol> <p>注) 1について、京都の西陣織であれば『西陣年鑑』に、業界の従業員数は示されているが、これには、営業職、総務職なども含まれているため、実際、西陣織のものづくりに携わる人数は把握できない。また、「伝統工芸士」の人数は、経済産業省のデータとしてはあるが、伝統工芸士の他に、いろいろな分野(工程)の職人がものづくりを支えていることはよく知られている。ものづくり人材の全体像を明らかにした資料は今だにない。一方、フランス、ドイツでは、国のトップが「わが国では何人の職人がいるか」を把握していることに驚きます。</p>	<p>○このことを踏まえつつ、今後、次期広域計画の実現に向けては、ご提案の内容についても参考にさせていただきます。</p>

## 6 「農林水産業振興」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
6-1	<p>○広域産業振興局と一体となって関西全体にICTの情報通信技術を活用して「太陽光型植物工場」又は「LED人工型植物工場の普及促進を図り「農工商連携事業」のシンボルの位置づけを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県南相馬市の取り組みの事例（「植物工場」と「太陽光発電」との組み合わせ）</li> <li>・スプレツド，近鉄，阪神電鉄，日清紡HD，カゴメ</li> </ul>	<p>○具体的な取組については、次期広域計画及び関西広域農林水産業ビジョンに基づいて、いただいたご提案も参考にしながら、今後、構成団体と協議の上、実施可能なものについて取り組んでいくこととしています。</p>
6-2	<p>○「関西広域連合広域産業振興局農林水産部」が中心となって、欧州連合を通じて「阿波牛」，「神戸牛」，「淡路牛」，「但馬牛」，「近江牛」，「熊野牛」，「紀州牛」，「鳥取牛」を欧州への輸出を促進する。</p>	
6-3	<p>○計画原案16P「(1)地産地消の推進による域内消費拡大」であるが、地産地消の取組は、本来、狭いエリアでの取組であり、関西広域で取り組む事務として矛盾するのではないか。</p>	<p>○地産地消とは、地域で生産された農林水産物をその地域で消費することです。</p> <p>○関西広域連合での地産地消は、消費者は新鮮で色々な食材を入手できる、生産者は販売の拡大や輸送コストの低減等により所得を増やすことができる、また食料輸送に伴う二酸化炭素量の削減など環境への負荷が軽減できる、さらに食を通じた文化振興に貢献できるといった効果が期待されます。</p> <p>○このため、これまでの構成団体における取組を尊重しつつ、「まず地場産・府県市産、なければエリア内産」を基本に、特産農林水産物をエリア内で広く消費拡大を図る運動を展開し、域内の農林水産業の活性化、農林漁業者の所得向上に取り組んでいくこととしています。</p>

## 7 「広域医療」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
7-1	<p>○「関西広域連合広域防災局」と連携し、「消防防災ヘリ」と「ドクターヘリ」との運用管理システムの共有化を図る。</p>	<p>○関西広域連合管内において、4機の消防防災ヘリが「ドクターヘリの運用」を行うなど、ドクターヘリとの連携強化を図っているところであります。</p> <p>○運用管理システムの共有化については、各ヘリの運航目的や指揮命令系統の違い</p>



		等、実現に向けては解決すべき課題が多いと考えております。今後とも引き続き、ドクターヘリと消防防災ヘリと連携を密にし、より効率的、効果的な運航体制の構築に取り組んでまいります。
--	--	---

## 8 「広域環境保全」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
8-1	<p>○「関西広域連合広域環境保全局」が中心となって以下の取組を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「3Rリサイクル運動」を関西全体で展開する。</li> <li>・「レジ袋削減運動」を関西全体で展開する。</li> <li>・「マイバツク持参運動」を関西全体で展開する。</li> <li>・「ペットボトルキャップ回収運動」を関西全体で展開する。</li> </ul>	<p>○ご意見のとおり、関西地域が広域で3Rに取り組むことが重要であると考えており、次期広域計画でもマイバッグ持参運動の推進など3Rの推進に向けた統一的な啓発に取り組む内容としているところであり、ご意見につきましては、施策の推進に当たっての参考とさせていただきます。</p>
8-2	<p>○「関西広域連合広域環境保全分野」が主体となって、構成府県内で「屋上緑化」や「屋上庭園」を推進する。</p>	<p>○ご意見につきましては、関西広域連合として実施する効果や府県市との役割分担も考慮しながら、今後の広域的な環境保全の検討における参考とさせていただきます。</p>
8-3	<p>○広域環境保全計画におかれましては、今後も再生可能エネルギーと省エネルギーの効果が適切に評価される具体的な取り組みの推進を期待する。また、物流分野において京都府で天然ガス車を活用した「京都物流グリーン化プロジェクト」がはじまるなど、低炭素社会に向けた取り組みが様々な分野で行われていることを踏まえ、より広い分野での取り組みの検討や推進をしてはどうか。</p> <p>○天然ガスを利用するエネルギーシステムは、コージェネレーションや燃料電池などと太陽光発電とを組み合わせた分散型エネルギーシステムを構築したり、バイオガスと組み合わせたエネルギー利用システムを開発したりするなど、「再生可能エネルギーの拡大と低炭素社会づくりの推進」方針に、貢献できる要素が多くあるので、活用してはどうか。</p>	<p>○次期広域計画では、広域環境保全の重点方針として、再生可能エネルギーの拡大と低炭素社会作りの推進を掲げるとともに、エネルギー政策を位置づけています。</p> <p>○また、関西における望ましいエネルギー社会の実現に向け、今年度中に「関西エネルギープラン」を策定する予定をしており、その中で省エネの推進や再生可能エネルギーの積極的導入などを盛り込むとともに、地域の状況に応じた再生可能エネルギーの積極的導入や高効率なコージェネレーションなど分散型電源の導入推進を掲げています。</p> <p>○今後は次期広域計画やこのプランを踏まえ、低炭素社会に向けた様々な取組を検討・実施していきます。</p>

8-4	<p>○P20の「5 広域環境保全〈重点方針〉(3) 自然共生型社会づくりの推進」の文の最終に「更に、生物多様性を保全する世界条約（ラムサール条約等）での地域登録を支援する。」を加える。</p> <p>○世界条約での登録により、国際的な情報発信ができることでより多くの人々と自然共生型社会づくりが推進されると考えるからです。</p>	<p>○重点方針につきましては、これまでの人と自然との関係をいま一度見つめ直し、今後の自然共生型社会づくりを推進するための取組について明記しています。</p> <p>○ご提案いただきました国際的な情報発信につきましては、関西広域連合として実施する効果や構成団体との役割分担等について考慮する必要がありますが、今後の研究課題として参考とさせていただきます。</p>
-----	--	---

## 9 「資格試験・免許等」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
9-1	<p>○広域連合で実施している調理師、製菓衛生師、准看護師の国家試験の願書申込、受験、免許交付、手続きについて今まで都道府県ごとに行っていたのが大阪市内で行われるようになったので、他府県からの受験者、免許取得者にとっては経済的、物理的に不便を強いられ手間がかかっている。今後、受験者が経済的、物理的な不便を受けることなく自由に最寄りの府県や会場で受験、申込、交付やその他の手続きができるようにすべき。また、全国各都道府県で調理師、製菓衛生師、准看護師が働きやすい労働環境が作られ、専門教育が行われることを望む。</p>	<p>○府県毎に実施していた調理師、製菓衛生師、准看護師の資格試験・免許等の事務については、事務の効率化の観点から関西広域連合で集約し、本部のある大阪で集中処理しています。</p> <p>○このため、関西広域連合では、これまでのように申請者の方に窓口へ訪れていただくことなく、郵送で手続きができるようにしており、少しでもご不便をお掛けしないように努めているところです。また、試験会場についても、各府県で1か所以上を設けており、受験者が自由に関西広域連合内の最寄りの会場を選択できるようにしています。</p> <p>○今後もこれらの事務の実施状況を点検・改善を図りながら、効率的な事務の執行を行うとともに、住民の利便性の向上を図ってまいります。</p> <p>○なお、全国で働く調理師、製菓衛生師、准看護師の労働環境の改善に関しては、一義的には国の所管であり、関西広域連合では労働行政を担っておりません。また、資格を取られ免許をお持ちの方は、各々の職場や職能団体の実施する講習や研修の機会を通じて研鑽されるものと認識しております。</p>
9-2	<p>○危険物取扱者、消防設備士、毒物劇物取扱者など都道府県知事交付による国家試験については今までどおり実施されるべき。</p>	<p>○府県が実施する資格試験・免許等事務の更なる集約化については、事務の効率化や住民の利便性への影響などを勘案し、検討を進めることとしております。</p>

## 10 「広域職員研修」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
10-1	<p>○広域職員研修とはいっても、各府県、市町村で独自に行っている事、地域に根づいた取組があるので、それらを一緒に混ぜ合わせるのではなく、小さな地域での取組や課題に対しての議論を大切にしつつも、広域で協力し合えることをお互いに協力し合えるようにすべき。広域連合は、国が進めている取組（例えば、厚生労働省が行っている認知症5か年計画（オレンジプラン）や幼保一元化計画、内閣府、国土交通省が行っている国土強靱化計画（ナショナル・レジリエンス））について、各府県・市町村や区の実情に合った協議、研修を行い、広域職員研修の中で発表、意見集約していけばいいのではないかと。</p>	<p>○各構成団体は、地方公務員法第39条の規定により自らが作成している人材育成のための方針や計画に基づき独自性のある研修を計画・実施しており、関西広域連合にあっては関西共通の政策課題に対応できるような幅広い視野を有する職員の養成と構成団体職員間の人的ネットワーク形成を柱とした研修を計画・実施しております。</p> <p>○今後も、いただいたご意見を参考にし、共通の課題として研修のテーマにふさわしい政策課題のようなものがあれば、それを題材として研修を実施していくことも検討してまいります。</p>
10-2	<p>○P23の「7 広域職員研修〈重点方針〉（2）構成団体間の相互理解及び人的ネットワークの形成」の文中「広域な人脈づくりを行うことにより、」を「広域な人脈づくりを行うと共に研修参加後の研修修了者によるネットワークづくりを支援することにより」とできませんか。研修修了者による広域の同窓会的なものをつくることで更に広域での相互理解やネットワークづくりに資すると考えるからです。</p>	<p>○ご指摘頂いた研修修了者によるネットワークづくりは、非常に重要と考えており、過去に政策形成能力研修を受講した職員を対象に今年度、OB研修会を実施し、人的ネットワークの形成に努めております。</p> <p>○次期広域計画で記載しております広範な人脈づくりは、このような研修終了後のネットワークづくりを想定した概念も含んでおりますので、今後ともそれらを支援してまいります。</p>

## 1.1 「その他の取組」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
11-1	<p>○京都大学を「学術研究の拠点」、「叡智の拠点」として大阪大学、神戸大学等の構成府県内の大学を一括的・包括的に束ねる。</p>	<p>○京都大学や大阪大学、神戸大学は文部科学省所管の国立大学法人であり、その再編・統合については国において検討されることとなります。</p> <p>○なお、関西には前記の3大学をはじめ、世界屈指の大学や研究機関、科学技術基盤が多数集積し、それぞれが強みや特色を有しています。</p> <p>○関西広域連合では、これらの関西の優れたポテンシャルを一層強化し、中長期的に絶え間なくイノベーションを創出できるよう、今後とも、大学等研究機関や科学技術基盤などとのネットワーク構築・関係緊密化などの産学官連携の強化に取り組んでまいります。</p> <p>○また、次期広域計画では事務の順次拡充に大学間連携と明示し、今後3年間で基本方向や可能性を検討することとしています。</p>
11-2	<p>○構成府県の自治体情報システムを一括的・一元的に集中管理を行う「関西広域連合クラウドシステム」を実現する。</p>	<p>○クラウドコンピューティング技術の活用については、ICTの進歩により、①システムの集約や共同利用による経費削減や、②データセンターの活用によるセキュリティの向上やバックアップの確保などの運用効果が見込まれることから、自治体の行政情報システムにおいても取組事例が出てきています。</p>
11-3	<p>○関西広域連合本部事務局内に「兵庫情報ハイウェイ」、「紀の国情報ハイウェイ」、「鳥取情報ハイウェイ」等の構成各府県の自治体情報ネットワークの集約を行う「関西広域連合クラウドセンター」を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西広域連合の構成府県の情報の統一化と共有化の促進</li> </ul>	<p>○しかし、これら自治体クラウドの推進にはメリットだけでなく、情報システムの共同化を進めるための各参加団体の業務プロセスの標準化が必要なことや、膨大なデータの移行に多額の費用が発生する可能性があるなど解決すべき課題も多いと考えます。</p> <p>○そのため、関西広域連合がシステムやデータ基盤を提供するなどの役割を担うには、人材やノウハウなどの面から難しいと思われます。</p> <p>○また、自治体クラウドの推進については、構成団体の情報システム部門が連携し、国の地方自治情報センターの活用や、先進事例の共有・情報交換などを行いながら、各自治体でノウハウを集積し、十分に研究してまいります。</p> <p>○関西広域連合においては、ホームページ上で関西に関する統計データを掲載し、</p>

		<p>統計情報の共有化を図っており、今後も統計データをはじめとした情報について、幅広く集約し、情報の共有化を図ってまいります。</p> <p>○また、情報の共有化のみならず、関西の将来像を実現するために、これらの情報を活用・分析し、今後、関西で取り組むべき戦略を検討してまいります。</p>
11-4	○関西広域連合がワールドマスターズゲームズの誘致を行った結果、2021年に関西で「関西ワールドマスターズゲームズ2021」を開催することが決定したならば、広域計画にも取組を記載すべきではないか。	○関西広域連合では、4年に1度開催される生涯スポーツの国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズの開催を誘致し、平成25年11月に「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催を決定したところです。
11-5	○関西広域連合主催で関西広域連合の構成府県内で持ち回り方式による「関西広域連合版国民体育大会」を開催する。	○ご提案いただいた国民体育大会は、スポーツの普及、健康増進と体力の向上、地方スポーツの振興などの発展に寄与することを目的として、都道府県持ち回りで毎年開催される国内最大の国民スポーツの祭典ですが、この内容と同様の趣旨である
11-6	○関西広域連合が「とくしまマラソン」、「大阪マラソン」、「神戸マラソン」、「京都マラソン」を応援する。	「関西ワールドマスターズゲームズ2021」が単なる一過性のイベントに終わることがないように、関西マスターズスポーツフェスティバルの開催についても計画しているところであり、マラソンなどの様々な競技について冠をつける対応を検討しています。
11-7	○関西広域連合が「徳島ヴォルティス」、「ガンバ大阪」、「セレッソ大阪」、「ヴィッセル神戸」、「京都サンガF.C.」、「ガイナレ鳥取」を応援する。	○今後、これらの大会を通じ、関西を生涯スポーツの先進地域として発信し、健康志向の活力ある高齢社会の実現、スポーツツーリズムによる関西の活性化につなげてまいります。
11-8	○事務の順次拡充についても期待しているが、その項目に関らず、各府県における先進事例を出しあうコンペ等で、それをブラッシュアップし、連合全域での実施を目指してはどうか。(兵庫なら小規模集落元気作戦等)	○ご提案いただいた内容を踏まえ最終案までに表現などを調整し、追記いたします。
		○関西広域連合で実施する事務につきましては、本部事務局及び分野事務局の会議等で構成団体での先進事例を含めたご意見をいただきながら検討を行っているところです。
		○新たな事務の実施など事務の拡充において、構成団体における先進事例を出し合い、関西広域連合全域での実施を目指すことは重要なアプローチであります。
		○今後ともご提案いただいた内容を踏まえ、順次拡充する事務等について検討してまいります。

## 1.2 「広域インフラ」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
12-1	<p>○関西広域連合に「広域交通運輸・社会資本基盤整備局」を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関西国際空港」の全体構想の実現</li> <li>・「新名神高速道路」の早期の全線開通 (「名神高速道路」の大阪JCT～「中国自動車道」の神戸JCT間)</li> <li>・「紀淡海峡連絡自動車道」の実現 (「阪和自動車道」の和歌山JCT～「神戸淡路鳴門自動車道」の洲本IC間)</li> <li>・徳島小松島港における国の「国際拠点港湾」への指定 (「国際拠点港湾」の和歌山港、姫路港、堺泉北港と港湾連携の推進)</li> </ul>	<p>○関西広域連合では、広域インフラ検討会を設置し、広域交通インフラについて検討しており、平成25年3月には「広域交通インフラの基本的な考え方」とそれに基づく、「広域インフラマップ」(道路)を作成し、「新名神高速道路」や「紀淡海峡連絡自動車道」などを掲載しています。</p> <p>○これらも踏まえ、「新名神高速道路」の早期全線開通や、関西国際空港の国際拠点空港としての機能強化のための支援などについても国に要請しているところです。</p> <p>○広域インフラについては、現在のところ、構成団体から持ち寄る具体的な事務がないため、新たな分野事務と位置づけるには時期尚早であることから、次期広域計画では引き続き企画調整事務として位置づけたところであり、関西主要港湾の広域的な連携など、今後とも関西全体の発展に必要な広域インフラについて、検討してまいります。</p>
12-2	<p>○関西国際空港の「国際旅客ハブ空港」並びに「国際貨物ハブ空港」の拠点化の推進を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関空＝成田線や関空＝羽田線の国際ハブ空港間の航空ネットワーク網の強化</li> <li>・関空＝鳥取線、関空＝米子線、関空＝松山線、関空＝高知線の国内航空路線の開設</li> <li>・関空＝ロンドン線の国際航空路線の運航再開</li> <li>・関空＝トロント線の国際航空路線の開設</li> </ul>	
12-3	<p>○関西広域連合と関西国際空港が一体となって関西国際空港の国内線及び国際線の航空ネットワーク網の拡充を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本航空の関西＝ロンドン線の国際線の運航再開(ボーイング787)</li> <li>・関西＝仙台線の国内線の路線強化</li> <li>・関西＝新潟線の国内線の路線開設</li> </ul>	
12-4	<p>○P24の「8 その他広域にわたる政策の企画調整等(1) 広域にわたる政策の企画調整 ① 広域インフラのあり方」の文中「リニア中央新幹線の全線同時開業に向けた取組などの検討を行う。」を「リニア中央新幹線の全線同時開</p>	<p>○広域インフラについては、関西大都市圏の実現などを柱とする「広域交通インフラの基本的な考え方」も踏まえ、広域交通インフラの検討を行うこととしています。</p> <p>○次期広域計画期間中において、まずは、「リニア中央新幹線の大阪までの全線同</p>

<p>業に向けた取組や在来線を活用しての大阪、京都、奈良、和歌山を環状に結んだ鉄道の大環状線の整備及び紀淡連絡道路（併用橋）の建設に向けた取組などを行う。」とできませんか。リニアは鉄道でもありますからこれらと連絡していくためにも在来線を利用した環状線や四国への鉄道乗り入れをセットで進めていくことが肝心であると考えているからです。</p>	<p>時開業に向けた取組」の検討を最優先とすることとしていますが、今後とも関西全体の発展に必要な広域インフラについて、検討してまいります。</p>
---	---

### 13 「エネルギー政策」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
13-1	<p>○ICTの情報通信技術で関西全体で「ICTスマート・タウン」や「ICTスマート・グリッド」を構築する。</p>	<p>○関西広域連合では、次期広域計画にエネルギー政策を位置づけるとともに、その具体的な取組等を示した関西エネルギープラン（以下「エネプラン」という。）を策定中です。</p>
13-2	<p>○「関西広域連合広域環境保全局」が中心となって、中山地間で「小水力発電」や「バイオマス発電」等の取り組みで「地域自立型自然再生可能エネルギー」の促進を図る。</p>	<p>○エネプランでは、特に再生可能エネルギーについて、関西広域連合としての導入目標を重点目標として掲げ、関西広域連合と構成団体が協調・連携して、太陽光発電をはじめ、風力、小水力、バイオマスなど、地域の特性に応じた再生可能エネルギーを積極的に導入促進していくこととしています。</p>
13-3	<p>○「関西広域連合広域環境保全局」が主体となって、洋上風力発電、潮流発電、小水力発電、地熱発電、バイオマス発電等の新たな自然再生可能エネルギーの育成を行う。</p> <p>○「関西広域連合広域環境保全局」が主体となって、地域完結型の関西広域連合における「地産地消の自然再生可能エネルギー」を推進する。</p> <p>※有馬温泉、洲本温泉、城崎温泉、南紀白浜温泉、紀伊勝浦温泉、龍神温泉、米子皆生温泉、祖谷温泉等の温泉熱発電</p>	<p>○また、洋上風力発電、波力発電、海流発電など、関西における再生可能エネルギーの新技術開発に対する支援や積極的な投資促進等を国に提案していくこと、安定した電力需給体制の構築や省エネの推進のため、エネルギー管理システムやスマートコミュニティに関する調査研究や情報発信を行うこととしています。</p> <p>○関西広域連合では、ご教示いただきましたICTを活用した技術や再生可能エネルギーについての様々なご提案につきましても、次期広域計画やこのエネプランに基づき検討していきます。</p>

#### 1.4 「国の事務・権限の移譲」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
14-1	○記載されている内容は、中身がなく、空論で実現可能性が乏しく、仮に実現したとしても、構成府県民がありがたいと思わない事項である。	○国の事務・権限の移譲のねらいは、国と地方の二重行政の解消に取り組み、地方が主体的に事業の優先順位を決定し、より地域の実情に応じた施策を効果的かつ総合的に展開することのできる体制をつくりあげていくことにあります。
14-2	○関西広域連合の設立により、今まで受け皿がないことを理由に拒んでいた国からの権限移譲の可能性が出てきたことは、連合設立による大きな成果であり、今後も地域にできることは地域に任せる仕組み作りに積極的に取り組んでいただきたい。	○そのため、関西広域連合は設立のねらいの一つとして、国の地方支分部局(国の出先機関)の受け皿づくりを掲げ、これまで積極的に政府等へ働きかけを行ってきた結果、関係法案が閣議決定されるに至っております。 ○政権交代により、その動向が不透明になるなかにあっても、関西広域連合としては、これまでの改革の成果を後戻りさせることなく、地方分権改革の推進を迫っていく姿勢が必要と考えており、政府の地方分権改革推進本部、地方分権改革有識者会議の動向や、道州制に関する議論などを睨みながら、引き続き国の出先機関の事務・権限の移譲など地方分権の推進を政府等に強く主張してまいりたいと考えております。

#### 1.5 「道州制」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
15-1	○道州制には少なくとも3つの型(①国の直轄支配型、②完全地方分権型、③その他の型)がある。③は多数あるが、県や市を残したままの道州制もあり得るし、この場合でも広域最優先で多数決で重要な事業を進める型の道州制は可能である。①、②、③の何れにしても域内で自由に使える予算が決められることが道州制の特長である。①の形態は必ずしも悪者ではなく、各省庁が地方に分室を持ち財政においても地方を重視、優先する地方分権型中央集権(地方が考える財源を残す、例えば江戸時代型)であれば、住民にとって幸福である。一方で、急に②まで行くのは難しいかもしれない。 ○今も関西から出る税金が東京と外国とその他に流れている。お金を殆ど東	○関西広域連合は、制度疲労を起こしている現在の中央集権体制を打破し、自らの政策の優先順位を決定・実行できる個性豊かな関西を創り上げていくことをねらいの一つとして設立されました。こうした理念の下、関西広域連合は、国の事務・権限の移譲をはじめとした地方分権改革の推進に取り組んできており、これまで政府・与党をはじめ各方面に要請活動などを行ってきたところです。 ○また、道州制についても、有識者による研究会を設置して地方分権改革を推進する観点から調査・検討を行っています。今後とも、こうした取組を推進し、地方分権改革の実現に向けて、政府等に積極的に働きかけを行っていきたいと考えています。



	京に集めて配る中央集権システムが地方を疲弊させていること明らかである。地方に交付するのではなく、地方から取り上げないことの方が効果がある。関西広域連合は道州ではないが、政府に迫っていくべきではないか。	
15-2	○広域連合や道州制に興味のある九州や東北のブロックの広域連合やあるべき道州制の考え方を調査していただき、住民にも知らせていただきたい。	○他ブロックにおいても、九州や四国、中国など国の出先機関改革の受け皿づくりを目指し、関西広域連合の設立に向けた検討がなされてきました。また、九州においては、九州地域戦略会議（九州知事会と九州の経済団体が設立）などによる道州制に係る調査・検討も行われ、これについては報告書がとりまとめられています。○今後ともこうした外部の動きにも注視し、必要に応じて連携を図りながら、地方分権改革の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

## 16 「住民に対する広域連合のメリット」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
16-1	○広域連合が設立して約3年経過しているが、住民はなかなか、広域連合が存在することでどのような利益があるか実感できていない。	○ドクターヘリによる救急搬送による医療の提供などをはじめ、住民と密接不可分な事務を実施するとともに、今後、国からの事務・権限の移譲を受けることにより、住民に密接な事務の増加が想定されます。
16-2	○関西広域連合がどのようなことに取り組んでいるかわからない。もっと、住民に対してどのような取組を行っているのか、住民にとってどのようなメリットがあるのか説明することが重要。情報発信機能を拡充すべき。	○住民に対し、関西広域連合のメリットや取り組んでいる広域事務について情報発信を行い、住民理解を促進していくことは非常に重要であると考えております。
16-3	○関西広域連合が府県市にまたがる諸課題の解決を扱うものであると理解している。また、広域計画の中身を見ると確かに広域的な取組みであることが伺える。しかしながら、関西広域連合が連合としてどのようなことに取り組んでいるか、実際の活動は府県市や市町村が行っているのか、その辺がよくわからない。実際の取組み面で連合自身として、住民に対してどのような取組を行っているのか、住民にとってどのようなメリットがあるのか説明することが必要ではないか。	○そのため、次期広域計画期間では、住民にメリットを実感してもらえよう「見える化」の手法を検討し、関西広域連合が取り組んでいる広域事務を中心とする現在の取組や国の出先機関の移譲を受けた将来の関西広域連合がもたらす成果などの情報を構成団体と連携し発信してまいります。

## 17 「構成団体内市町村との情報共有」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
17-1	<p>○計画原案27P「(2)構成団体内市町村との情報共有」であるが、構成団体内市町村では関西広域連合の位置づけや役割が十分理解されているとは言えず、連合の計画や取組みに市町村がどのように係わるのか明確でないのが現状である。ついては、広域連合のあり方の中で示されている、「情報共有」や「市町村理解の醸成を図る『意見交換会』」などについては、積極的に推進していただくとともに、構成団体内市町村の首長や住民の意見などを反映するための仕組みづくりをお願いしたい。特に道州制については、各首長間でも温度差が様々であることから、十分、構成団体内市町村の意見を聴く必要があると考える。</p>	<p>○これまで南海トラフ巨大地震等の大規模災害を想定した関西広域連合、府県、市町村の具体的な対応のシナリオ化など、市町村と連携した事務を実施してまいりました。</p> <p>○また、今後、国から事務・権限の移譲を受けたり、新たな事務を実施する際には、市町村の実施する事務との調整が必要になります。</p> <p>○こうしたことから、構成団体はもとより住民に最も近い市町村とのきめ細やかに情報共有を図り、信頼関係を構築していくことが極めて重要であると考えております。</p> <p>○そのため、構成団体内市町村に対し、国からの事務・権限の移譲なども見据えた関西広域連合の取組について、市町村理解の醸成を図る「意見交換会」を定例的に開催してまいります。</p> <p>○なお、現在、年2回程度、構成団体内市町村長との意見交換会を開催し、関西広域連合で取り組んでいる広域事務や国出先機関対策に係る取組方針など、引き続き、関係市町村へのきめ細やかな情報提供を行ってまいります。</p>

## 18 「関西ブランド」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
18-1	<p>○魅力ある関西のエリアイメージを高め、官民共同によるエリア・コンセプト「はなやか関西」のもと関西ブランドによる展開をしたら、関東に負けないうし、その他地域にも負けないう独自のものができるし、人々を引きつけるのではないかと。</p>	<p>○観光・産業分野などの取組に「はなやか関西」を活かし、関西のエリアイメージを高めていくような関西ブランドの発信事業を官民が連携し、推進してまいりたい。</p>

18-2	<p>○実際に実施するのは現状の各府県でも支障はないが、連合を機縁とした新たな政策展開を継続することで、住民に連合の存在感を感じさせることが必要と感じる。連合の存在感の発揮のために、他にも「KANSAI」ブランドの確立を目指していただきたい。現状既に観光振興等で提起されているが、それに限らず自然に「KANSAI」を感じられる政策立案をお願いしたい。例えば、安直であるが、各府県の名産品をミックスした新たな物産の開発である。「KANSAI」の食卓と銘打って、各府県産品で一膳を提供する。ありがちな、「大阪の皿」、「兵庫の皿」などとするのではなく、ひとつの品に複数の府県のものを使い、全体として「KANSAI」の一膳を作り、名物とすることができれば、たこ焼きを愛する大阪人を、○○を愛するKANSAI人に変える等といった進化のきっかけに繋がるのではないかな。</p>	<p>○関西広域連合の認知度アップについては、広域事業の取組の「見える化」を図るなどその成果が直接住民に理解をいただけるよう、情報発信の工夫などを検討していく。</p> <p>○「KANSAI」ブランドの確立については、官民が連携し、コンセプトを共有して取り組んでいくことが必要と考えており、「はなやか関西」のもとで官民が共同して、様々なテーマにおいて関西在住者も「関西」の魅力を再認識できるような関西ブランドの取組を発信してまいりたい。</p>
------	--	---

## 19 「他のブロックとの関係」について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
19-1	<p>○「四国広域連合」(徳島県, 香川県, 高知県, 愛媛県)、「中国広域連合」(鳥取県, 広島県, 岡山県, 山口県, 島根県, 広島市, 岡山市)、「九州広域行政機構」(山口県, 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 大分県, 熊本県, 宮崎県, 鹿児島県, 福岡市, 北九州市) の設立の手助けを行う。</p>	<p>○関西広域連合は、国の出先機関の事務・権限の受け皿として国と地方の二重行政の解消に取り組み、関西全体としてスリムで効率的な行政体制へ転換し、関西が全国に先駆けて地方分権の突破口を開きリードしていくことを目指し、発足しました。</p> <p>○これらを実現するためには、国に対して実績を示しながら、積極的に事務・権限の移譲を求めていくことが必要であることから、関西広域連合単体だけでなく、関西広域連合と同じ志を持つ他ブロックとの連携を図ることは極めて重要であります。</p> <p>○そのため、次期広域計画においても、全国知事会や他ブロックとの連携について明示し、積極的に取り組んでまいります。</p>
19-2	<p>○奈良県、福井県、三重県の「関西広域連合」の加盟を促す。  ※福井県(福井県は京都府と滋賀県と地縁的な繋がりがある)  ※三重県(三重県名張市は近鉄大阪線沿線の大阪への通勤圏)</p>	<p>○奈良県、福井県及び三重県については、現在、防災分野などの広域事務において、連携団体として参画いただいております。</p> <p>○しかし、ご提案いただいたように、関西全体での権能・事業執行力のさらに強化</p>

19-3	<p>○関西と言えば、近畿圏の府県を想像するが、構成団体を見ると奈良県が入っていないのは違和感がある。やはり、関西で一体的な取組を行うには、奈良県の参加は不可欠ではないか。</p>	<p>するためには、奈良県、福井県及び三重県とのさらなる連携強化が必要であります。</p> <p>○そのため、次期広域計画において、これら3県については、全面加入はもとより、防災や観光など個別分野での一部参加を促すことを明示し、積極的に呼びかけてまいります。</p>
------	--	---

## 20 「その他」

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
20-1	<p>○各府県単位で責任を持ち、災害等はお互いに助け合うのが当たり前であるが、1つでも無駄な事務局はなくしたほうがいい。今までも大きい災害は助け合い、阪神大震災も乗り切ってきたので、今以上に税金を使う必要はない。又、知事も考え方が違い同じ精神で続いてゆくとは限らない。</p>	<p>○ご意見のとおり、構成団体は各々が持つ地域特性や強みを活かし、各々で事務を実施するのが基本であります。</p> <p>○一方、関西広域連合は、これらの構成団体が単独で処理するよりも、広域的に処理することで住民生活や行政効果の向上又は効率的な執行が期待できる事務、また、国からの権限移譲を受けて広域的な課題を解決できる事務、さらには利害調整を要する広域課題への対応を行っております。</p> <p>○これらの考え方に基づき、現行は、広域防災をはじめとした各分野担当委員のもとに事務局を置き、極力簡素で効率的な仕組みとして運用しているとともに、共通の課題に対しては、本部事務局を中心に機動的な体制整備に努めております。</p> <p>○今後も、簡素で効率的な組織体制としつつ、国の事務権限の移譲がされた場合など、組織再編を含めた必要な組織体制のあり方について検討を行ってまいります。</p> <p>○また、関西広域連合は現在の中央集権体制を打破し、活力に満ちた関西を創り上げていくために、志を同じくする2府5県4政令市により構成されています。</p> <p>○今後もこの志のもと、構成団体間で連携・協力していくとともに、奈良県、福井県及び三重県とのさらなる連携強化は必要であることから、これら3県の加入促進も求めてまいります。</p>